

被験者募集のご案内

[内容に関するお問い合わせ先・書類宛先]

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1

TEL 0422-47-8000(内線 2516)

研究責任者 杏林大学保健学部診療放射線技術学科 遠藤 祐太

現在、診療放射線技術学科では、「スマートフォンの長期使用が脳血流に与える影響に関する研究 - Arterial spin labeled MRI を用いた検証 -」というテーマについて検討するため、以下の実験について被験者を募集しています。

研究課題名	スマートフォンの長期使用が脳血流に与える影響に関する研究 - Arterial spin labeled MRI を用いた検証 -
対象者の概要	<p>1) 選択基準</p> <ul style="list-style-type: none">① 実施期間の間に保健学部 に在学する 4 年生② MRI 検査問診票により検査が可能であると判断された学生② 自由意思による研究参加の同意を本人から文書で取得可能な学生③ 同意取得時の年齢が 20 歳以上の学生 <p>これらすべての基準を満たす者を対象とする。</p> <p>2) 除外基準</p> <ul style="list-style-type: none">① MRI 検査問診票により検査が不可能であると判断された者② 長時間の安静が困難な者③ 閉所恐怖症がある者 <p>これら除外基準の 1 項目以上を満たす場合は除外する。</p>
実験の概要	<p>本研究では、スマートフォンの利用状況が脳血流に与える影響を MR 検査で造影剤使用や被ばくもなく血液灌流を評価できる Arterial spin labeling (ASL) を用いて検証します。ASL は認知症の診断にも用いられており、ASL でスマートフォンの長時間利用の影響を明らかにすることが可能であれば、今後の認知症の診断にも有意義な情報を提供できると考えています。</p> <p>本研究では、事前にスマートフォンの利用状況についてのアンケートを実施します。1 回目の MR 撮像を行い、得られた MR 画像から脳血流量を算出します。1 週間後に 2 回目の MR 撮像を行い、改めて脳血流量測定を実施します。その間、スマートフォンによる動画視聴や SNS 利用を平日 4 時間以上行っていると回答した方は、利用が 1 時間以下になるように利用を制限していただき、利用状況と脳血流量の関係性を明らかにしていきます。MR 撮像は一般の病院で行われているものとまったく同じなので人体に影響はありません。撮像時間は 1 回目が 40 分、2 回目が 20 分程度です。</p>

実験時間	概ね 20～40 分程度
実施期間	2024 年 3 月 27 日 ～2025 年 12 月 31 日
謝礼	あり ・ なし
申し込み方法	<p>■メールまたは QR コードによる応募をお願いいたします。</p> <p>① メールアドレス: yendo@ks.kyorin-u.ac.jp</p> <p>② メール本文へ以下をご記載ください:</p> <p>-----</p> <p>氏名:</p> <p>連絡先(メールアドレス):</p> <p>希望する曜日・時間帯など:</p> <p>-----</p> <p>※メールでのご連絡または QR コードによる登録をいただきましたら、折り返しこちらからご連絡をいたします。</p>

